

Title	蓑谷千凰彦教授略歴・著作目録
Sub Title	Chronology and bibliography of the writings of Professor Chiohiko Minotani
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	2005
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.97, No.4 (2005. 1) ,p.671(209)- 679(217)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-20050101-0209

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

蓑谷 千凰彦教授 略歴・著作目録

* 2005年3月31日をもって慶應義塾大学
経済学部を定年退職するのにもない、
本学会を退会する会員の略歴・著作目録
を次頁以下に掲載します。

本誌編集委員会

蓑谷 千凰彦教授 略歴・著作目録

2005年1月31日現在

学 歴

- 1958年3月 岐阜県立斐太高等学校卒業
- 1958年4月 慶應義塾大学経済学部入学
- 1962年3月 同上卒業
- 1965年4月 慶應義塾大学大学院経済学研究科修士課程入学
- 1967年3月 同上修了
- 1967年4月 同上博士課程入学
- 1970年3月 同上単位取得退学

職 歴

- 1962年4月 三菱電機株式会社入社
- 1965年4月 同上退社
- 1971年4月 慶應義塾大学経済学部助手
- 1976年4月 同上助教授
- 1982年4月 同上教授

- 1967年4月 日本経済研究センター計量研究部マクロ班（主査 内田忠夫 東京大学教授）研究員（～1978年12月）
- 1981年10月 経済審議会計量委員会臨時委員（～1989年4月）
- 1985年4月 早稲田大学政治経済学部非常勤講師（～1992年3月）
- 1985年10月 慶應義塾大学計算センター三田計算室長（～1991年9月）
- 1986年4月 東京大学教養学部非常勤講師（～1989年3月）
- 1987年4月 早稲田大学大学院経済学研究科非常勤講師（～1992年3月）
- 1989年4月 お茶の水女子大学生活科学部非常勤講師（～1996年3月）
- 1989年5月 慶應義塾大学情報処理教育室副室長（～1991年9月）
- 1991年10月 慶應義塾大学計算センター副所長（～1993年3月）
- 1993年4月 慶應義塾大学メディアネット副所長（～1995年9月）

1995年3月 横須賀市固定資産評価審査委員会委員（～現在に到る）

2000年9月 横須賀市特別職報酬等審議会委員（～現在に到る）

賞 罰

1983年10月 慶應義塾賞

学 位

1995年7月13日 博士（経済学），慶應義塾大学

業 績

1 論 文

1. “多重共線性とパンチ・マップ”（鳥居泰彦氏と共著），「三田商学研究」，10巻5号，1967。
2. “分布ラグと識別の問題”，「三田商学研究」，11巻4号，1968。
3. “計量経済モデルと予測”，計量経済学研究会議『第8回研究会議議事録』に所収，1970。
4. “分布ラグと伝達関数——自動制御理論のモデル分析への応用——”，計量経済学研究会議『第9回研究会議議事録』に所収，1971。
5. “Best Linear Unbiased Predictor and the Prediction Error”，*Keio Economic Studies*, Vol.8, No.1, 1971.
6. “自動制御理論の経済分析への応用”，「日本経済研究」，No.1, 1971。
7. “パスカル分布の推定——FORTRAN IVによる計算プログラム——”，「三田商学研究」，16巻4号，1973。
8. “紙・パルプ産業における在庫・価格変動の分析”（鳥居泰彦氏と共著），慶應義塾大学産業研究所，1975年4月。
9. “分布ラグの若干の問題”，『日本経済の計量分析』，岩波書店，1975に所収。
10. “マクロ消費関数の計測”，「三田学会雑誌」，68巻4号，1975。
11. “経済学における統計的認識（1）”，「三田学会雑誌」，68巻11号，1975。
12. “経済学における統計的認識（2）”，「三田学会雑誌」，69巻5号，1976。
13. “最適政策方式と系の安定性——自動制御理論の経済分析への応用——”，「季刊理論経済学」，第27巻第1号，1976。
14. “経済分析における時間要素——分布ラグの視点から——”，「三田学会雑誌」，70巻6号，1977。
15. “Optimal Policy Adjustment Rules, Policy Lags, and the Stability of the System——the Application of Classical Automatic Control Theory to Stabilization Policy——”，*Keio Economic Studies*, Vol.14, No.12, 1978.

16. “Could We Not Have Reduced the Inflation Rate and the Balance of Payments Surplus—Some Simulation of the JERC Model—”, *Keio Economic Studies*, Vol.15, No.1, 1979.
17. “政策ラグのシステムへの影響”, 「三田学会雑誌」, 72 卷 1 号, 1979。
18. “経済指数”, 『経済学大辞典』第 III 卷, 東洋経済新報社, 1980 に所収。
19. “最適制御理論の計量モデルへの応用および合理的期待批判”, *mimeo*, 1981。
20. “不遇の統計学者エッジワース”, 「三田学会雑誌」, 75 卷 1 号, 1982。
21. “経済予測とその方法”, 『建設省所管事業等の公共事業効果把握調査報告書』, (財) 地域開発研究所, 1982 に所収。
22. “分析と実践の峻別——シュンペータの一断面——”, 「三田学会雑誌」, 76 卷 6 号, 1984。
23. “シュンペータと計量経済学 (1)”, 「三田学会雑誌」, 77 卷 1 号, 1984。
24. “計量経済学における頑健推定 (1)”, 「三田学会雑誌」, 82 卷 3 号, 1989。
25. “計量経済学における頑健推定 (2)”, 「三田学会雑誌」, 82 卷 4 号, 1990。
26. “回帰モデルにおける誤差項の正規性検定 (1)”, 「三田学会雑誌」, 83 卷 2 号, 1990。
27. “回帰モデルにおける誤差項の正規性検定 (2)”, 「三田学会雑誌」, 83 卷 3 号, 1990。
28. “回帰モデルにおける σ と β の同時 M 推定”, 大石泰彦・福岡正夫編 『経済理論と計量分析』, 早稲田大学出版部, 1992 に所収。
29. “計量経済学の史的展開と現代の課題”, 「三田学会雑誌」, 96 卷 3 号, 2003。

II 著 書

1. 『経済分析と微分・積分』(尾崎巖氏と共著), 東洋経済新報社, 1971。
2. 『経済分析における時間要素』, 東洋経済新報社, 1981。
3. 『楽しい統計学』, 東京図書, 1981。
4. 『続楽しい統計学』, 東京図書, 1981。
5. 『推測統計のはなし』, 東京図書, 1982。
6. 『計量経済学』, 東洋経済新報社, 1983。
7. 『回帰分析のはなし』, 東京図書, 1985。
8. 『統計学のはなし』(『楽しい統計学』, 『続楽しい統計学』 に加筆し改題), 東京図書, 1987。
9. 『推定と検定のはなし』(『推測統計のはなし』 に加筆), 東京図書, 1988。
10. 『計量経済学』(第 2 版), 東洋経済新報社, 1988。
11. 『経済分析のための微・積分入門』, 多賀出版, 1991。
12. 『計量経済学の新しい展開』, 多賀出版, 1992。
13. 『計量経済学における頑健推定』, 多賀出版, 1992。
14. 『統計学入門』1, 2, 東京図書, 1994。

15. 『経済分析のための微・積分入門』(増補版), 多賀出版, 1995。
16. 『計量経済学の理論と応用』, 日本評論社, 1996。
17. 『統計学のはなし』(改訂新版), 東京図書, 1997。
18. 『計量経済学』, 多賀出版, 1997。
19. 『パソコンによる数量分析』(平田・斎藤・大津氏と共著), 多賀出版, 1997。
20. 『計量経済学』(第3版), 東洋経済新報社, 1997。
21. 『推測統計のはなし』(9.『推定と検定のはなし』に加筆), 東京図書, 1997。
22. 『すぐに役立つ統計分布』, 東京図書, 1998。
23. 『よくわかるブラック・ショールズモデル』, 東洋経済新報社, 2000。
24. 『金融データの統計分析』, 東洋経済新報社, 2001。
25. 『計量経済学』(第2版), 多賀出版, 2003。
26. 『パソコンによる数量分析』(改訂版)(野村・斎藤・大津氏と共著), 多賀出版, 2003。
27. 『統計分布ハンドブック』, 朝倉書店, 2003。
28. 『応用計量経済学 III』(共著, 第4章「生産関数」担当), 多賀出版, 2004。
29. 『統計学入門』(14に加筆), 東京図書, 2004。

III 訳 書

1. クリスト『計量経済学のモデルと方法』(竹内一樹氏と共訳), 鹿島出版会, 1973。
2. バタチャリヤ・ジョンソン『初等統計学』全2巻, 東京図書, 1980。
3. ヴァンデル『時系列入門』(広松毅氏と共訳), 多賀出版, 1988。
4. マンスフィールド『統計学入門——ビジネスと経済学のために』上, 下(高木康順, 大津武氏と共訳), 多賀出版, 1994。

IV その他

1. “学会をきく——第2回計量経済学会極東大会——”, 「日本経済研究センター」会報, 1967, July 15。
2. “単純回帰”, 『近代経済学講座』計量分析篇 1, 有斐閣, 1968 に所収。
3. 『経済センター四半期予測——計量モデルによる18カ月見通し』(計量研究部マクロ班研究員として分担執筆), 1970~1980。
4. “確率論の濫觴”, 「三色旗」, 1975年3月号。
5. “エコノメトリクス”, 「経済セミナー」, 1973年12月臨時増刊号。
6. “春闘相場決定メカニズムの特徴とその変化”(佐野陽子氏と共著), 「労政時報」, 第2259号, 1975年3月。
7. 「分布ラグ」, 内田忠夫・福地崇生『計量経済学』(経済学全集28)別冊, 筑摩書房, 1975。

8. 『日本の主要なマクロモデル』（計量研究部マクロ班研究員として分担執筆），1976。
9. 高山地域『商業近代化地域計画報告書』（商業近代化委員会委員として参加），1976。
10. 高山地域『商業近代化実施計画報告書』（商業近代化委員会顧問として参加），1978。
11. “確率”，『テキストブック統計学』，有斐閣，1979 に所収。
12. 『地場産業情報システムの構築と関連データの収集』（情報機能強化委員会委員として参加），1986。
13. 『飛騨地域地場産業情報ニーズ調査』（情報機能強化委員会委員として参加），1986。
14. “計量経済学”，「経済セミナー」，1986 年 4 月号。
15. “「英国病について」——ジェントリの価値観」との長く厳しい闘い——，「日本経済研究センター」会報，1986，Dec.1。
16. “計量経済学への第一歩”，「経済セミナー」，1992 年 10 月号。
17. “計量経済学の新しい動向①～⑥”，日本経済新聞「やさしい経済学」，1992 年 11 月 26 日，27 日，28 日，30 日，12 月 1 日，2 日。
18. “数理経済学と計量経済学”，「数学セミナー」，1993 年 10 月号。
19. “計量経済学の新しい動向（上）」，「経済セミナー」，1994 年 1 月号。
20. “計量経済学の新しい動向（中）」，「経済セミナー」，1994 年 2 月号。
21. “計量経済学の新しい動向（下）」，「経済セミナー」，1994 年 3 月号。
22. “ケインズ政策は本当に死んだのか”，「経済セミナー」，1997 年 4 月号。
23. “計量経済学を学ぶために必要なこと”，「経済セミナー」，2003 年 9 月号。
24. 研究会出版物
 - (1) 『日本のマクロ経済』，多賀出版，1991。
 - (2) 『日本のマクロ経済』，多賀出版，1992。
 - (3) 『日本のマクロ経済』，多賀出版，1993。
 - (4) 『日本のマクロ経済』，多賀出版，1994。
 - (5) 『雇用と経常収支の問題』，多賀出版，1995。
 - (6) 『産業の空洞化』，多賀出版，1996。

V 書 評

1. D. V. リンドレー，竹内啓・新家健精共訳『確率統計入門 1 確率』（培風館），「日本経済研究センター」会報，1967，July 15。
2. 佐和隆光『計量経済学の基礎』（東洋経済新報社），「日本経済研究センター」会報，1970，Oct. 15。
3. 新開陽一『経済分析と微分・定差方程式』（東洋経済新報社），「日本経済研究センター」会報，1971，Sep. 1。
4. L. R. クライン，佐和隆光訳『経済予測の理論』（筑摩書房），「日本経済研究センター」会報，1973，Oct. 1。

5. 佐和隆光『数量経済分析の基礎』(筑摩書房),「日本経済研究センター」会報, 1974, July 15。
6. 経済統計研究会編『社会科学としての統計学——日本における成果と展望——』(筑摩書房),「日本経済研究センター」会報, 1976, July 15。
7. Barker, T. S. ed., *Economic Structure and Policy with applications to the British economy*, Chapman and Hall, 1976, 「三田学会雑誌」, 72 卷 1 号, 1979。
8. Dogramaci, A., ed., *Developments in Econometric Analyses of Productivity: Measurement and modeling issues*, Kluwer/Nijhoff Pub, 1983, 「学鑑」, Vol.80 No.6, 1983。
9. シュンペーター, 都留重人訳『帝国主義と社会階級』(岩波書店), 「パピルス」, 1983 年 11 月 1 日。
10. 安藤洋美『確率論の生い立ち』(現代数学社), 「BASIC 数学」, 1993 年 1 月号。

VI 雑 文

1. “風声 慶友会の学習活動”, 「三色旗」, 1975 年 3 月号。
2. “L. R. クライン, 経済学を築いた人々 26”, 「経済学全集月報」, 筑摩書房, No.28, 1975 年。
3. “塾生書架マクロ経済学の基本文献”, 「三色旗」, 1981 年 3 月号。
4. “震度 1 科目試験出張は宴会のダン?”, 「三色旗」, 1981 年 11 月号。
5. “入社試験”, 「慶應義塾大学報」, 1982 年 12 月 1 日。
6. “やめて!!内定後のおせっかい”, 「読売新聞」夕刊, 1983 年 1 月 25 日。
7. “ああ, 中学受験”, 「三田理財クラブ 125」, 1983 年 5 月号。
8. “新・大学生就職事情”, 「読売新聞」夕刊, 1983 年 9 月 27 日。
9. “高校生・大学生のための就職講座①”, 「読売新聞」夕刊, 1984 年 3 月 27 日。
10. “高校生・大学生のための就職講座②”, 「読売新聞」夕刊, 1984 年 4 月 3 日。
11. “高校生・大学生のための就職講座③”, 「読売新聞」夕刊, 1984 年 4 月 10 日。
12. “高校生・大学生のための就職講座④”, 「読売新聞」夕刊, 1984 年 4 月 17 日。
13. “法害”, 「ジュリスト」, No.813, 1984.5.15。
14. “ホテルの寝巻”, 「高山 JC NEWS」, No.222, 1984.6。
15. “私の視点「英国病」について”, 「三色旗」, 1985 年 2 月号。
16. “社会変化に諸科学は如何に対応するか——第 1 回「経済学」”, BRB シリーズシンポジウム「BRB 通信」, 1985 年 7 月。
17. “仕事と関連させて問題意識の読書”, 『高校生・大学生のための就職講座』, 学陽書房, 1986 に所収。
18. “三田キャンパス内, 光データハイウェイについて”, 「KUCC」(慶應義塾大学計算センター), 1986, No.7。
19. “私の書棚——日曜日の書棚整理”, 「日本経済研究センター会報」, 517 号, 1986 年 Aug. 1。
20. “対談 パソコンと付き合う法”, 「慶應義塾大学報」, 1986 年 8 月 1 日。

21. “PC 端末室の開設について”，「慶應義塾大学報」，1986 年 10 月 1 日。
22. “追慕——経済センターの内田先生”，「日本経済研究センター会報」，523 号，1986 年 Nov. 1。
23. “塾におけるコンピュータの利用”，「塾」，1987，No.3。
24. “ヨーロッパの底力”，BRB シンポジウム「慶應 BRB フォーラム」，1987 年 9 月号。
25. “経済学説も 50 年サイクルか?”，「日本経済研究センター会報」，560 号，1988 年 May 15。
26. “計量経済学”，「Guide line」，河合塾全国進学情報センター，1990 年 10 月号。
27. “微笑むコンピュータ”，「KUCC」（慶應義塾大学計算センター），No.11，1990。
28. “豊かさのなかの文化の貧困”，「慶應通信」，1991 年 6 月 1 日。
29. “口の悪さと飛騨高山”，飛騨高山観光協会会報「飛騨高山の四季」，1992 年 7 月 1 日。
30. “普遍性，対話性，移動性——慶應義塾のコンピュータ——”，「MEDIANET」，No.1，1993。
31. “神々の愛でし正規分布”，「三田評論」，1995 年 11 月号。
32. “「メディアの盲点」”1, 2, 3, 4, 「経済セミナー」，1997 年 4 月号，7 月号，10 月号，1998 年 1 月号。
33. “「経済学 1 年生のころ」”，「経済セミナー」，1999 年 5 月号。
34. “自分の頭で考える習慣を，ぜひ今のうちから身につけてほしい”，「Z 会の通信教育」，2000。